





インタビューに答える森川氏

森川 LINE 社社長

まずはアクションを

「考える前に行動する」に集中する……。LINE社社長の森川亮氏(昭和63年度第三学群情報学類卒業)は、経営など自らの理念を聞かれ、そう繰り返した。また若い世代には、安定期に向き合う「今やりのことをやってみよう」とも。森川氏とのインタビュー内容は以下の通り。

(平嶋健人) 社会学類3年、林健太郎(同)2年

「今やりたいこと考えて」

経営理念について聞かされたとき。時代の変化に対応することが一番重要だと考えています。10年後がどうなっているか誰も読めない世の中で、10年後の計画を作っても意味がない。今に集中する、もしくは予測できる範囲で高いものを目指すようにしています。

日本人は計画立案に時間を使って、実際の行動に結びつかない人が多い。大事なことは計画ではなく、まず何かアクションを起こすこと。社員には考える前に行動するスピード感を求めています。計画にこだわると本質を見失います。

「起業とは何なのですか?」 起業は結果的にはお金を儲けつつありますが、自分の技術や知識で社会に貢献することがゴールだと思っています。

最近の大学の先生には「過去を勉強しても仕方がない」という意見が多いようです。これだけ変化する世界だと、過去に起こったことは未来で起きないだろう。だからこそ「考える力」を鍛えるべきだという意見が多い。でも考える力をつけるだけだと、(学生たちが)実際に行動に移ることを支援する仕組みも必要です。

「筑波大生への支援策を考えていますか?」 「つくばを(米国のシリコンバレーみたいな)にできたらいい」と漠然と思っています。シリコンバレーも、あるベンチャー企業が生まれたのをきっかけに発展した。つくばでは最近、徐々にベンチャー企業が生まれつつあるので、それを機に大きく変わることを期待しています。

「シリコンで学生に求めることは?」 とにかく多くの学生に参加してほしい。僕が大学生のころは、「大学がつまらない」という学生が大勢でした。「どうしても受けない」という授業が特になかった。だから、多くの学生がわくわくするような授業を勉強できる大学にしたい。そのためには、学生と一緒に大学を育てていかなければいけない。

「当時のつくばの印象は?」 夜道は暗く、とにかく歩いている人がいない、というのが当時の印象です。いろいろなアルバイトをして、大企業ではできない経験ができたことも思い出です。東京だと家庭教師など知的なアルバイトも多いですが、当時つくばにはそんな仕事もなくて、ラーメン屋の皿洗いや、駐車場の交通整理員まで何でもやっていた。

「若い世代へのメッセージをお願いします。」 若い人には今、やりたいことをやってほしい。昔は起業するのにもお金がないとできないことが多かった。でも今はお金があってもいいし、若い人から、夜はアルバイトでした。情報学類の思い出はありますか? 実は大学に入るまでコンピュータに触ったことがなかったんです。教室に入ると、今でいうオタクみたいな人がばかりで、すっかり浮いてしまっていました。特にOとIでプログラムを組む作業が楽しかったです。勉強に関してはいい思い出ばかりです。

「森川氏(もろかわ)の経歴をお願いします。」 1967年、神奈川県生まれ、47歳。89年に日本テレビ放送網に入社。99年、青山学院大学大学院でMBAを取得。2000年にソニー入社後、03年にハンゲームジャパン(現LINE株式会社)に入社し、07年より現職。

アフガニスタン パーミヤン遺跡 壁画や装飾品を調査・修復



調査を行う谷口准教授

谷口陽子准教授

文化財の保存科学を専門とする谷口陽子准教授(人文学部)が、中央アジアを中心に世界各地で古代壁画や装飾品などの貴重な文化遺産の保存・修復活動を行っている。時間とともに劣化する重要な文化遺産を長持ちさせるため、壁画に使われている彩色材料から新たな地域交流の歴史や世界最古の油絵の発見に関わるなど、大きな成果も上げている。(林健太郎) 社会学類2年

世界最古の油絵発見にも貢献

谷口准教授は2005年一で行われているパーミヤン跡はイスラム主義勢力から、東京文化財研究所の遺跡(アフガニスタン)のバンのテロ活動によって破損されたため、03年から修復活動を行ってきた。遺壊されたため、03年から修復活動を行ってきた。谷口准教授は「壁画に残る宗教の精神性や歴史の深みを消さずに修復し、後世に伝えたい」と語る。一方で、今後の活動について「壁画に使われている彩色材料から、文化交流や技術交流など人類の英知を解明したい」と話している。

復活活動が行われている。同准教授は同遺跡で08年、壁画片の成分を分析し、同遺跡にあった世界最古の油絵の発見にも貢献した。昨年9月にも同遺跡での壁画の調査、修復に当たるなど、今まで50の洞窟で壁画調査を行ってきた。

微細藻類「nak9」

放射性物質を高度に吸収 白岩教授らが発見

福島第一原発事故でも飛散した放射性物質、セシウムを高度に吸収する能力を持つ微細藻類「nak9」を白岩善博教授(生環系)と井上敷教授(同)らの研究グループが発見した。福島第一原発での実証研究の許可が下りず実用化のめどは立っていないが、培養しやすい微細藻類を除染に用いることで、コスト削減が見込めるという。



「nak9」の培養風景

同研究グループは、原発事故で飛散した放射性物質の中でも特に人体に取り込まれやすいセシウム、ストロンチウム、ヨウ素を除去する能力について、微細藻類や水生植物188株を調査。研究の結果、セシウム、ストロンチウム、ヨウ素を高度に吸収する株がそれぞれ5株、3株、8株発見された。中でもnak9と呼ばれる藻類は2日以内で培

養液中のセシウムを90%以上除去・吸収する能力があることが分かった。nak9は約10年前、井上敷教授が培養し続けていたもので「セシウム等を吸収する能力がある」とは全く予測していなかった(白岩教授)という。

海外拠点の新設 マレーシアとカザフに

筑波大学は4月24日、マレーシアとカザフスタンに海外拠点を設置したと発表した。各拠点は、大学のPR活動を行い、国際連携を推進していく。これにより、現地に派遣した留学生の確保も期待される。筑波大は、国際的に活躍できる「グローバル人材」の育成を強化するため、2006年から世界の主要都市に専用オフィス(海外拠点)を設けている。チュニスコオフィス(チュニジア)の設置を皮切りに、タシケント(ウズベキスタン)やホーチミン(ベトナム)にオフィスを展開してきた。今回の新設により、海外拠点は9カ国計10カ所となった。

マレーシアの「クアラルンプールオフィス」はマレーシア工科大学内に開設。筑波大から派遣された教員1人と、現地で採用した職員が在任しているが、9月にはもう1人、職員を追加で派遣する。筑波大は12年10月から、マレーシアで日本型の工学系教育を普及させるプロジェクトに参画する。(望月麗)

研究それぞれが被災地の早期復興のために研究してきた。実証研究がいつ許可されるか分からないが、nak9を培養し続けた」と話している。この研究は2011年の夏に農林水産省の支援を受ける。(新田萌夏)

加。この本部もマレーシア工科大学内に設置された「アルマトイオフィス」は、同大に採用された元筑波大の教員が勤務する。筑波大は現地の4大学と学術協定を結び、過去7年間で96人の留学生を受け入れてきた実績を持つ。現在の学術交流は人文社会系が中心のため、今回の海外拠点設置をきっかけに、数理工学系や生命環境系の学術交流の促進を図る。

今後は6月ごろまでにカリフォルニア(米国)とサンパウロ(ブラジル)にそれぞれ海外拠点を設置する予定。(望月麗)

地域と大学つなぐ

社会貢献プロジェクト 10周年

「筑波大学社会貢献プロジェクト」が始まって10周年目を数える。このプロジェクトは、筑波大の幅広い学問分野の研究を生かした社会貢献活動を学内で公募し、その助成を行うもの。例年約50件以上の申請が寄せられ、これまでの活動は300を超えている。過去とどのような活動が行われ、今年どのような活動が採択されたのか。そしてどんな反響があったのか。つぎに紹介していく。(油布知夏 文学類、望月麗 比較文化学類、新田萌夏 社会学類、姉崎信 心理学類、添島香苗 生物学類)

小学生へ 科学振興

理科の面白さ教える

「一人でも多くの子どもたちに理科の面白さを実感させたい」。小林正美准教授(数物系)は「出前実験講義」の目的のひとつをこのように語った。



「出前実験講義」で実験を行う子どもたち

「お楽しみ。事前に「予告」対象は小学生が中心で、しないことで、子どもたち小林准教授は研究室の学生が予想外の実験を楽しめるように活動している。出よう工夫している。実験で「前」は年50回程度で、今年度は19年目を迎えた。講義の内容は10年までの一般を扱う。食べ物を使った

実験で「身近な不思議」にも目を向けさせる。用意するものは空き缶や牛乳パックを使った手作りの実験グッズなど。実験グッズの使い方を一通り説明した後は、子どもたちが自由にグッズなどで遊べる時間も設け、子どもたちの主体性を尊重している。小林准教授によると近年、小学校の授業で理科実験を行う機会が減少しているため、身近で扱いやすい道具を用いることで、学校側が容易に理科実験に取り入れられるよう工夫しているとのこと。そのため、理科が苦手な小学校の教師から「参考になる」と好評だ。



実験のやり方を実演する小林准教授(左)

「出前実験講義」はつくば市だけでなく、県内外にも赴く。その実績が認められ、2006年に「社会貢献プロジェクト」の一環として大学から支援を受けるようになった。アルミ箔で包まれたフラッシュコップに流れた電流に触れる実験では、子どもたちは「電流を身体に感じて痛かった」と歓声を上げた。また風船やプロペラを使ってヘリコプターを作る工作では、「風船をプロペラで飛ばす工作が面白かった」と子どもたちは次々に感想を述べ、「また

来たい」と笑顔を見せた。4月19日に筑波大学内で行われたキッズユニバーシティ。ここでも小林准教授は「面白不思議科学実験工作隊」として小学校高学年以上の子どもたちを対象に実験・工作の体験イベントを行った。同准教授が太陽光を集める特殊な器具を使って水を温める実験などを見せる度に子どもたちは歓声を上げた。

小林准教授は、「子どもたちの理科離れが叫ばれて久しいが、それは理科に触れる環境が少なくなってきただけ。実験の面白さを通じて主体的に理科に関わってほしい」と語った。

社会貢献 経緯と課題



井上勲 教授

同教授によると、筑波大は人文社会科学、自然科学から体育、芸術、図書館学まであらゆる分野の研究・教育ができる環境と広大なキャンパスを有しており、「これらの強みを生かして、社会からの要請に応えた」と望む教職員は多かった。また、平成16年度に文科省から「大学は地域活性化に貢献すべき」との通達があったことを機に、国際貢献・産学官連携・地域貢献などを目指した同プロジェクトを発足させた。

その後、科学振興や国際協力の環境保護、文化・地域活性化、健康・スポーツ、医療・福祉、復興・再生支援など多岐にわたる社会貢献活動が毎年実施された。平成21年度からは学生による提案も認められたほか、平成24年度からは活動報告会を実施し、特に優れた活動を表彰。異なる分野で活動する団体間の交流・触発の場ともなっている。

井上教授は、教授や学生が申請するプロジェクトは50件以上の申請があり、取り組むは学内に定着しつつある。どれも熱意にあふれた素晴らしいものばかりだ」として、「プロジェクトを開始して10年、初期から継続している活動もあり、良い企画がたくさん育っている。つくば市周

員から専門分野などを考慮して選出された約10人で構成。提出された企画は、社会貢献度の重要性のほか、計画や経費は妥当か、自治体など協力者との連携はどうか、採択の可否を審査する。採択された企画には50万円前後の経費が支給される。井上教授は、「毎年50件以上の申請があり、取り組むは学内に定着しつつある。どれも熱意にあふれた素晴らしいものばかりだ」として、「プロジェクトを開始して10年、初期から継続している活動もあり、良い企画がたくさん育っている。つくば市周

地域との連携強化したい

井上教授は、教授や学生が申請するプロジェクトは50件以上の申請があり、取り組むは学内に定着しつつある。どれも熱意にあふれた素晴らしいものばかりだ」として、「プロジェクトを開始して10年、初期から継続している活動もあり、良い企画がたくさん育っている。つくば市周

員から専門分野などを考慮して選出された約10人で構成。提出された企画は、社会貢献度の重要性のほか、計画や経費は妥当か、自治体など協力者との連携はどうか、採択の可否を審査する。採択された企画には50万円前後の経費が支給される。井上教授は、「毎年50件以上の申請があり、取り組むは学内に定着しつつある。どれも熱意にあふれた素晴らしいものばかりだ」として、「プロジェクトを開始して10年、初期から継続している活動もあり、良い企画がたくさん育っている。つくば市周

員から専門分野などを考慮して選出された約10人で構成。提出された企画は、社会貢献度の重要性のほか、計画や経費は妥当か、自治体など協力者との連携はどうか、採択の可否を審査する。採択された企画には50万円前後の経費が支給される。井上教授は、「毎年50件以上の申請があり、取り組むは学内に定着しつつある。どれも熱意にあふれた素晴らしいものばかりだ」として、「プロジェクトを開始して10年、初期から継続している活動もあり、良い企画がたくさん育っている。つくば市周

中学生と 町おこし

茨城県北西部に位置する、滝や温泉で有名な町。大子町(人口約2万人)の豊かな自然が広がるこの町で「みんなの乗校プロジェクト」が行われている。ここでも小林准教授は「面白不思議科学実験工作隊」として小学校高学年以上の子どもたちを対象に実験・工作の体験イベントを行った。同准教授が太陽光を集める特殊な器具を使って水を温める実験などを見せる度に子どもたちは歓声を上げた。

校をテーマに短編映画を作った。約10人の学生がサポートに入り、中学生らは学生と相談しながら作業に打ち込んだ。学生代表の橋田悠子さん(教育専攻1年)は「短編映画作りでは、子どもたちに役割が分担されることであんな顔をすんだね」と教師を驚かせるほど、普段は学生の間から映像制作が好きな「主役になれた」と活動に参加した近藤雄介さん(教育4年)は「どのグループにも、一人はふざけている子がいて、一人はまじめな子がいて、一人ひとりの役割が感じられ面白かった」と話した。子どもたちは全員が「スポットライト」を浴び、楽しみ、大成功のうちに「みんなの乗校プロジェクト」は幕を閉じた。

かつて4万3千人いた大子町の人口も現在は半分以下に減少。若い世代は都市に流出し、大子町は深刻な過疎に悩まされている。短編映画作りを通して、自分たちの地域を見つめ直すことも目的の一つだった。プロジェクトを監督した上田孝典准教授(人間系)は社会貢献プロジェクトについて「大学周辺で生活が完結してしまう筑波大生に、地域とのつながりを持たせることができる。外へ出向き学生と地域の人々両者にとってプラスになる活動をしていきたい」と語っていた。

短編映画作りで地域見つめ直す

短編映画作りや学習支援活動などを通して大子町の中学生と触れ合う活動だ。活動は今年2、3月に旧上岡小学校で7回行われ、大子町の各中学校から約10名の中学生が参加した。



映画制作の打ち合わせをする橋田さんと中学生たち

今後は、大子町の魅力をさらに外部へ伝えたいことが課題。5月には社会貢献プロジェクトの報告会で子どもたちの作品を上映する予定だ。短編映画がさまざまなところで発信されて、地域を活性化する未来も近い。

平成26年度 主な社会貢献プロジェクト活動

- 〈科学振興〉
  - ・夏休み自由研究お助け隊
  - ・スーパーサイエンスリーグによる未来の科学者の育成～卓越した児童・生徒をさらに伸ばす試み～
- 〈国際〉
  - ・国際都市つくばの新しい国際化施策一定住外国籍児童に対する「職育」プログラム
- 〈環境〉
  - ・「昆虫青年」が「昆虫少年」を育てる！つくば2014 学生が地域の子供達に贈る体験型環境教育
- 〈文化・地域活性化〉
  - ・つくさか地域食育支援プロジェクト
  - ・筑波大学芸術資産活用による「夏休みアート・デイキャンプ&アートたんけん隊2014」の実施
- 〈健康・スポーツ〉
  - ・地域住民の要介護化予防支援体系の構築
- 〈医療・福祉〉
  - ・科学的根拠に基づく母乳育児支援専門職の養成
  - ・「宇宙」を用いて地域の人々に笑顔を～つくば市の病院、学校を中心に～
- 〈復興・再生支援〉
  - ・東日本大震災津波被災地域におけるコミュニティ復興支援活動
  - ・柔道の再興と学校必修化を支援する「東北3県柔道指導キャラバン」

# 反射鏡

## 「ひと」のため 尽くす休日

荒川智弘(シス情2年)

私は、休日の大半をレーシングサーキットで過ごしています。生来クルマ好きであった私は、大学入学と同時にモータースポーツの世界へと飛び込んだ。

一般には、モータースポーツサーキットと考えると、安全な運営を現すためには、国際レースで数百名、入門レースでも百名程度のスタッフが必用となる。学生、会社員、主婦。さまざまな人々が、週末はサーキットに集う。その一人ひとりが、公平、安全なレース運営のために尽力する。

皆に共通するものは、「レースが好き」という想いだけ。その組織に加わり共に仕事をすることで、これまで多くの「ひと」と出会い、多くの「ひと」に人生の哲学を教わって頂いた。モータースポーツは危険と隣り合わせの世界。だからこそ、先人から学ぶことが多く、このような環境に身を置くこと、早6年。小さいころから日曜日の午前中という時間帯が苦手だった。よく晴れた日に、エンジンの音から差し込む無表情な暖かい日差しを見るのが重くなった。

ところで、私はせっかくなので、休日を寝て過ごすのはもったいないことだと思っている。よって、昼過ぎに起きてしまった日は落ち込むことになる。あまたやっていた。と、しかし、そんな憂うつな(自分の感覚の中の)朝を挽回し、充実した休日を過ごす方法が一つある。それは「誰か人と会って話をすることだ。友達でも先生でも、カフェの店員さんでもいい。朝早く起きられなくて沈みがちな日も、誰か一言でも会話を交わすだけで、心がぱっと晴れやかになるものだ。

## 人との対話 刺激を受ける

岩根美樹(芸専1年)

私は朝起きるのが苦手だ。特に休日は平気で昼まで寝てしまう。そういえば小さいころから日曜日の午前中という時間帯が苦手だった。よく晴れた日に、エンジンの音から差し込む無表情な暖かい日差しを見るのが重くなった。

ところで、私はせっかくなので、休日を寝て過ごすのはもったいないことだと思っている。よって、昼過ぎに起きてしまった日は落ち込むことになる。あまたやっていた。と、しかし、そんな憂うつな(自分の感覚の中の)朝を挽回し、充実した休日を過ごす方法が一つある。それは「誰か人と会って話をすることだ。友達でも先生でも、カフェの店員さんでもいい。朝早く起きられなくて沈みがちな日も、誰か一言でも会話を交わすだけで、心がぱっと晴れやかになるものだ。



今月のテーマ  
休日の過ごし方

# 記者の 声



中島佳奈

安倍政権の成長戦略の一つに、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

## 子育て支援策の充実を 女性の社会進出の一助に

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

## 難病の「いま」伝えたい



毎日新聞記者 蒔田 備憲さん

2005年に卒業後、滋賀、富山、佐賀と地方を転々とし、今年4月から水戸支局で働いています。事件や行政、選挙などを担当する傍ら、ライフワークとして取り組んできたのが「福祉」についての取材です。

前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと

「福祉」についての取材です。前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと

「福祉」についての取材です。前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと



蒔田さんの著書「難病カルテ 患者たちのいま」

「福祉」についての取材です。前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと

「福祉」についての取材です。前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと

「福祉」についての取材です。前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと

## 時間を使い方 精進したい

伊坂 庄多 (PN)

僕の休日は金曜日から始まる。いや、始める。金曜日は、週で一番浮ついた気があって、その通りだと思っていた。だが、やはり実際に必要になる場面を体験するその大切さが身に染みる。それ以来、自分の研究したいことについてよく考えるようになった。人との対話の中で受けた刺激は、本などとは比べ物にならないほど鮮烈だ。その

## 投稿募集

皆様からのご意見を  
お待ちしております

# 第30回つくば芸術祭 春のつくばを彩る2日間

筑波大学の芸術系サークル連合会が主催する「第30回つくば芸術祭」が5月3-4日につくば駅周辺で行われた。3日には人気イラストレーターの講演会が行われ、県外からも多くの人が訪れた。

つくば芸術祭は芸術系サークル連合会の有志が運営し、芸術を通して地域との交流を図る。「ファンクラブ」「アカペラサークルDoo・World」など音楽サークルによる発表や、写真部・及び書道部などの作品展示が行われ、春のつくばを彩る一大イベントとなった。

## 中村佑介さんが講演

### 講演会

今年が目玉企画は、イラストレーター中村佑介さんの講演会。中村さんは人気ミステリー小説「謎解きはディナーのあとで」(東川篤哉・著)の書籍カバーから、ロックアーティスト「アジアン・カンフー・ジュネレーション」のCDジャケット、教科



上=会場で披露された中村さんのイラスト  
下=自身のイラストについて語る中村さん(右)

書の本紙などを手掛ける白本屈指のプロイラストレーター。茨城県で講演会を行うのは今回が初めてで、会場にはつくば市内や茨城県内に限らず宮城県や福岡県からの来場者もあり、立ち見が出るほどの大盛況となった。

中村さんは、自身の経歴やイラストレーターとしての意識の持ち方など、ユーモアを交えて講演した。消費者はイラストを、作品の構成や技術より、どれだけ手間と時間をかけているのかで評価する。だから自分寧ろ仕事を速く仕上げたい。

講演後、中村さんは「講演会には普段芸術に関わらない人も多く参加していたので、専門にとらわれない自由な質問が出て面白かった。講演を聞いた人が楽しかったと思うと嬉しかった。『有名な中村さんから、イラストに対する考え方を直接聞くことができ、ためになった』と満足そうに話した。(12面に関連写真)



学生たちがモデルとなったリコシェのショー

## 学生製作の衣装披露 デザイナー・モデルとの交流も

ファッションサークル「RICOCHET(リコシェ)」によるファッションショー「RICOCHET」は「水切り遊び」などの意味を持つフランス語。水切り遊びのような弾む気持ちで遊べるような衣装を披露。蛍光塗料を用いた衣装を暗闇の中で浮かび上がらせる演出や、ショー直前の舞台裏を映した映像の紹介など、工夫に富んだ内容で観客を魅了した。ショーの終了後は、観客が部員やモデルと交流する時間も設けられた。

「Rose」の衣装を製作した椎名美季さん(社会学類2年)は「1月から2月の準備を続けてきた。自分の作った服をモデルに着てもらって感動した」と話した。(新田萌夏、12面に関連写真)

## 「交差する表現-構成専攻の現在」 屋内外で作品展示 「筑波嶺の竜神」注目集める

芸術系教員らの作品展「交差する表現-構成専攻の現在」が、4月1日から6月1日まで大学会館アトリウム及び芸術系ギャラリーで開かれている。筑波大学芸術系の構成専攻は総合造形、クラフト、構成、ビジュアルデザインの4領域に分かれている。回展はこれらの領域の紹介や、研究成果を発表す



国安教授の作品「筑波嶺の竜神」

る作品展。大学会館アトリウムでは、所属教員の紹介や、東日本大震災復興支援活動「創造的復興プロジェクト」の報告が行われ、芸術系ギャラリーでは構成専攻の教員11人が作品を出展した。特に来場者の注目を集めたのは、国安孝昌教授(芸術系)の「筑波嶺の竜神」。丸太と陶ブロック

を積み重ねた全長10メートルの作品で、屋外に展示すること、空間展示の可能性を模索している。会場を訪れた女子学生は「これも個性的な作品だが、専攻の教員11人が作品を出展した。構成には色々な表現方法があると分かって面白かった」と話した。(望月麗)



アコースティックギターを演奏する部員

## ギターと歌声で魅了 弾き語り

4日にはアイイイモール前広場(つくば市吾妻)で弾き語りクラブ「アンブラグッド」の部員によるコンサートが行われた。スピッ

ツの「君が思い出になる前」などが披露され、アコースティックギターに合わせた歌声が会場を響き渡った。

同クラブの女子部員は「緊張していたが、たくさん来場者に囲まれて楽しく演奏することができた」と話した。

つくば芸術祭実行委員会副委員長の横内碧さん(日3年)は「昨年10月、3から委員会を立ち上げ、準備を行ってきた。委員会のメンバーを各サークルから募ったため、仕事の振り分けや指導に苦労したが、昨年よりも来場者が増えてよかった」と話した。



辻雄一郎

社会には、多様な価値観を持った個人が共生しています。大学で学ぶ「自由」には二つの意味があります。一つは、自分の受け入れられない他者の生き方を尊重する、違いを認めるといった意味です。もう一つは、多数者の常識に押しつぶされ、たまたま一人の、かけがえのない生き方を守ることです。

## 自分の思い込みに気付く 20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学 集中講義

ティナ・シーリグ 著 高遠裕子 訳

大学は、そのおびえを勇気に変換する余裕を養う場所です。常識を疑い、決まってきたステップを踏み出し、自分の限界に挑戦するとき、新しい「何か」が起こります。大学で学んだことが社会に活かされたら素晴らしいでしょうが、大学に在学している間、「学生」個人のできることは限りなく小さいでしょう。

しかし、無力感を感じ、越え、小さな一歩を私たちが踏み出したとき、社会の大きな流れの一つを形成しているのかもしれない。

この本は、スタンフォード大学のティナ・シーリグさんが執筆したものです。私自身が20代のときに読んで、いかに、何かしら生き方が変わったかもしれないと思っただけです。

「いま、手元に5ドルあります。2時間だけで増やせと言われたら、みなさんはどうしますか?」

筑波大生は、この設問をどのように解くのでしょうか。私たちの目の前の考え方が思い込みや既成の価値観にとらわれていることに、ハッと気付かされる本です。私が18歳のとき、筑波大学で憲法や行政法を研究している今の自分を想像するからいませんでした。(阪急「ミニエッセイ」)

(人社系・准教授)

## 催事

### 吹奏楽団第71回定期演奏会

筑波大学吹奏楽団第71回定期演奏会が6月14日(土)にバホール(つくば市吾妻)で行われる。曲目は1部「トリトン」他、2部「ミュージカル」レ・ミゼラブルより、他、3部「ミュージカル」レ・ミゼラブルより、15時開場、15時30分開演。チケットは一般1100円、当日券600円。高校生以下は無料。チケット予約・問い合わせ0800-930303-3675(担当:河田) / usb\_inquiry@hotmail.com

詳細は <http://sound.jp/usb/> (筑波大学吹奏楽団公式ホームページ)





# ハンドルの「真ん中」に

## 未来車のデザイン



李昇姫 准教授

「これからの乗り物のデザインはどうか、また、どうあるべきなのか」。韓国や日本の企業など、約10年、自動車のデザインに携わってきた李昇姫准教授(芸術系)に聞いた。

「乗る人の使いやすさを考えた自動車のデザインすべきだ」と主張する李准教授は「乗る人の使いやすさを考えた自動車のデザインすべきだ」と主張する。同准教授は「乗る人の使いやすさを考えた自動車のデザインすべきだ」と主張する。

# 動物のサイをイメージに

## 学生の発想は



筑波大にはカーデザインのコンテストで入賞した学生がいます。

筑波大にはカーデザインのコンテストで入賞した学生がいます。清谷勇亮さん(芸専4年)と紅林駿介さん(同4年)に聞いた。また李准教授は「素材や部品を製造する技術が向上している。そのため、新しいデザインが求められる」と話した。

# 走行実験は成功

## バイオ燃料の自動車

筑波大では、藻類をもとに作り出したバイオ燃料を用いた自動車の実験を行っている。3月には、茨城県つくば市、筑波大が共同で進める「つくば国際総合戦略特区」のプロジェクトの一環として、公道実験も開始した。



バイオ燃料を用いた自動車

国内初の試みで、筑波大の研究施設で作り出したこのバイオ燃料を市販の軽油に5%混ぜ、ディーゼル車の燃料として使用。藻類は光合成で成長するため、同燃料は二酸化炭素削減効果が期待される。だが、問題が3月には同プロジェクト

「藻類バイオマス・エネルギーの実用化について、中心となって研究を進める」と話している。3月に行われた公道での走行実験では、筑波大本部から市内を約5時間走行した。関係者による今後の実証実験を進める

# 筑波自然図鑑

## ◇ヤマドリ◇



ヤマドリは、日本固有の鳥で、その肉の味は大変美味なことで知られている。深い山に住み、姿を拝むことができない。2月の末、筑波山にて野生動物研究会の会員が雄のヤマドリの遺骸を発見した。貴重なもので、役(文・今田創二比文2年)の許可を得ては複製することになった。写真は、宮野真二生資4年、同(宮野真二生資4年、同)



怒ったり、不安になったり、私たちは人との関わりの中でさまざまな感情を抱き、行動している。これまでの研究で特定のホルモンの動きを調節することで、不安感が軽減するなどの、感情の変化が起ることも知られている。そんなホルモンと行動の関連性についてマウスを使って研究を続けるのが、小川園子教授(人間系)だ。

# ホルモンバランス ホルモンで変わる行動や感情 カウンセリングへの応用に期待

ホルモンの体内のさまざまな部位で分泌され、体の維持に重要な役割を果たしている。例えば、成長ホルモンは脳下垂体前葉から分泌され、骨の生育や筋肉の成長に働く。だがこれまでのホルモン研究ではこれら生物の身体的な変化だけが注目されており、ホルモンによる行動や感情の変化には注目されていなかった。そこで、小川園子教授は、マウスの行動や感情を解析しながらホルモンによって攻撃行動



ホルモンバランスとマウスの行動との関係を解析する小川教授

ホルモンは生物の体内のさまざまな部位で分泌され、体の維持に重要な役割を果たしている。例えば、成長ホルモンは脳下垂体前葉から分泌され、骨の生育や筋肉の成長に働く。だがこれまでのホルモン研究ではこれら生物の身体的な変化だけが注目されており、ホルモンによる行動や感情の変化には注目されていなかった。そこで、小川園子教授は、マウスの行動や感情を解析しながらホルモンによって攻撃行動



全日本柔道選手権大会

永瀬が3位入賞の快進撃

デザイン=姉崎信(心理学類2年)



3年前の王者高橋に果敢に挑む永瀬(右)

【日本武道館(東京都千代田区)で井口彩二社会学類2年、森脇慎二同2年、体重無差別で柔道男子の日本一を決める全日本柔道選手権大会が4月29日に行われ、永瀬貴規(体専3年)が3位に入賞した。また黒岩貴信(同3年)は1回戦敗退に終わった。

4月の体重別選手権で優勝し、8月の世界選手権(ロシア・チェレピンスク)81kg級代表に内定している永瀬は初戦となった2回戦で100kg級、3回戦で90kg級、準々決勝では100kg級の超級の選手に勝利。準決勝で優勝した王子谷剛志(東海大)に敗れたものの、重量級の選手を次々に破る快進撃を見せた。

重量級の選手に3連勝

「初戦の相手のことしか考えていなかった。」そんな言葉は裏腹に永瀬は自身より大柄な選手に3連勝。準決勝まで駆け上がり、武道館に詰めかけた観客をわかせた。

2回戦の相手は熊代佑輔(ALSOK)。4月の体重別選手権の100kg級で優勝している階級上の実力者だが、「自分の間合いで足技を使って攻める」ことを考えて試合に臨んだ。

考え通りに、序盤から間合いを詰めてくる相手の攻撃をかわし、不利に見える体勢から「気がついていたら出ていた」という足で小外刈り。一本勝ちを収めた。

3回戦を指導2つによる優勢勝ちで突破し、迎えた準々決勝は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)。40kg以上の体重差がある相手

**記者の目**

「体が思うように動かなかった。何がいつもとは違った。初戦敗退した黒岩貴信(体専3年)に話を聞くと、そう答えた。毎年4月29日に開催され、体重無差別の全日本選手権は「出場することも難しい」といわれる、柔道日本一を決める大会だ。多くの選手は優勝どころか、出場が目標になってしまふ。そして体重無差別のため、パワーで勝つ重量選手が優位に立つことが多い。

**試合運びの巧さ際立つ**

しかしそんな厳しい舞台でも永瀬貴規(同3年)は躍動した。出場選手の中で181cm、81kgの永瀬よりも軽い選手はわずかに3人。その3人と対戦することもなく、自分が一瞬で勝負をつける速さを見せた。

堅い守りの一方で、永瀬の攻撃面の最大の武器が「瞬で勝負をつける速さ」を表現する。

「準備はいい選手は地に足がついていて、安心感がある」とその強さを表現する。

「永瀬は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)に挑む。40kg以上の体重差がある相手

**世界選手権へ弾み**

永瀬の持ち味は自分の間合いをしっかり保ち、簡単には相手の得意な形にさせない強固な守り

「永瀬の相手は熊代佑輔(ALSOK)。4月の体重別選手権の100kg級で優勝している階級上の実力者だが、「自分の間合いで足技を使って攻める」ことを考えて試合に臨んだ。

考え通りに、序盤から間合いを詰めてくる相手の攻撃をかわし、不利に見える体勢から「気がついていたら出ていた」という足で小外刈り。一本勝ちを収めた。

3回戦を指導2つによる優勢勝ちで突破し、迎えた準々決勝は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)。

**永瀬が81kg級で優勝**

全日本柔道選手権大会が4月5-6日に福岡国際センター(福岡市博多区)で行われ、男子81kg級で永瀬貴規(体専3年)が初優勝し、8月の世界選手権(ロシア・チェレピンスク)の代表に選ばれた。

また、73kg級で秋本啓之(了徳寺学園)・平成23年度体大育修了、100kg級で小野卓志(同・平成23年度同)が3位に入賞した。

永瀬は初戦、海老泰博(旭化成)に逆転勝ちし、準決勝で丸山剛毅(天理大)に勝利。決勝では、長島啓

**野球**

首都大学野球春季リーグ戦

**最下位と低迷**

打撃陣の調子上がらず

首都大学野球春季リーグ戦が4月12日から大田スタジアム(東京都大田区)などで行われ、筑波大学は打撃陣の調子が上がらず、5月15日現在、2勝8敗で8チーム中最下位と低迷している。

打撃陣が不振にあえぐな



先制の左中間三塁打を放つ水野

「打線を組み替えながら得点を奪いたい」と(川村卓監督)「体育系・准教授」と

監督は5月4日の桜美林大戦で、この試合も投手打が噛み合わず、3-4で敗れた。

「状態が上がってきている(川村監督)」という投手陣は、左腕の西島隆成(体専3年)が先発。西島

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

ス良く変化球を交えて4回まで桜美林大を無安打に抑える。

しかし2点リードの5回に先頭打者に左翼線一塁打を許すと、無死一、三塁からスクイズで失点。その後、2番手投手・石黒敦也(同

第15回東日本大学セvens選手権大会

**流通経済大を破り3連覇**

稗田が逆転トライ

第15回東日本大学セvens選手権大会が4月13日、秩父宮ラグビー場(東京都港区)で行われ、筑波大学が3連覇を果たした。同日、4月6日に行われた、大会「YC&AC JAP AN SEVENS」の準決勝で同大に負けた雪辱を

が3連覇を果たした。同日、4月6日に行われた、大会「YC&AC JAP AN SEVENS」の準決勝で同大に負けた雪辱を

が3連覇を果たした。同日、4月6日に行われた、大会「YC&AC JAP AN SEVENS」の準決勝で同大に負けた雪辱を

決勝では、前半3分に山本浩輝(体専4年)がトライし先制する。だが、6分と前半終了間際のハーフタイムにトライを許し、7-12で前半を折り返した。

後半開始早々の1分、水上彰太(同4年)がトライを決めて逆転。しかし、流通経済大の猛攻を受け、再度逆転のトライを決められる。それでも筑波大は試合終了間際の9分、相手のキックしたボールを竹中祥(同4年)が奪い、主将の山下(同4年)、亀山宏大(同3年)にボールをつなぐ。最後は稗田優志(同3年)がトライを決め、21-17で接戦を制した。

試合後、山下は「1年生の時から出場してきたこの大会で3連覇できてうれし」と語った。(富田慎二)

# 関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦 女子が好調、現在第2位



提供= TSA

## 中盤で東海大から巻き返し 「相手を見極め」好プレー連発

関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦が4月12日、筑波大学から5月25日にかけて、国士館大学多摩キャンパス体育館(東京都多摩市)などで行われている。筑波大学は5月15日現在、女子が好調を維持し6勝1敗で8チーム中2位、男子は6勝2敗で10チーム中3位に

安定したプレーを見せる田村

なっている。女子は5月3日に日本女子体育大学体育館(東京都世田谷区)で東海大学と対戦。試合中盤以降に流れをつかみ24-18で勝利した。序盤は東海大のペースで試合が進む。だが、試合中盤にセンターの岩崎成美(体専2年)が体を張ったカットインプレーで得点を決め、筑波大に流れを引き寄せた。その後は「相手の動きを見極め、焦らず冷静にプレーできた」(加納明帆主将 同4年)と好プレーを連発。左サイドの田村美沙紀(同2年)の安定したディフェンスや、ゴールキーパー関澤あすか(同3年)の好セーブなどで守りきり、接戦を制した。今季のリーグ戦について加納は「選手が各自の役割をしっかりと把握し、チームに貢献しようという意気込みでいる。納得のいく試合がしたい」と話した。(望月麗)



直転の演技を披露する松浦

## 日本が初優勝 堀口・高橋が好演技を披露

第7回世界ラトチームカップ

体操... トチームカップが4月25-27日にドイツのベルリンで行われ、日本が初優勝を果たした。団体戦でドイツに

彦(平成24年度体育修了)が日本代表として出場し、好演技で世界一に貢献した。日本は試合の序盤、思うように点数が伸びず、第3ラウンドが終わった時点で最下位。だが、第4ラウンドで堀口が会心の演技で高得点を記録し一気に2位に浮上した。どの国にも優勝のチャンスがある僅差で迎えた最終の第6ラウンドでは高橋が完璧な直転の演技を見せ、優勝を決めた。松浦は「世界大会への参加は今回が2回目。個人的には多くの課題が残ったため、今回先輩方や海外の選手から学んだことを生かして次の大会に向け頑張りたい」と語った。(油布知夏)

水泳競技... 第90回日本選手権水泳競技大会が4月10-13日に東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で行われ、女子50リヤ泳ぎで諸貫真美(体専4年)が3位に輝いた。スタートに失敗し、序盤からトップに差をつけられた諸貫は、25リヤ地点から力強い泳ぎを見せた。28秒57の自己ベストでフィニッシュするも、「自分の最高の泳ぎができるように準備してきたが、(2位だった)

女子50リヤ 諸貫が3位  
昨年からの順位落とす  
第90回日本選手権水泳競技大会  
昨年の日本選手権から順位を落とし、昨年は2位だったと悔しさをにじませた。6月には、パンパシフィック水泳選手権(8月、オーストラリア)の代表選考会を兼ねたジャパンオーブン2014(50リヤ)に出場する予定。27秒90の派遣標準記録を切る事が代表入りの条件になっている。しかし、諸貫は「一度も経験のない全国大会優勝と、代表入りを目指す」と意気込んでいる。(姉崎信)

サッカー... 第88回関東大学サッカーリーグ戦が4月5日に開幕し、味の素フィールド西が丘(東京都北区)などで行われている。筑波大学は5月15日現在、第8節を終えて6敗2引き分け、勝ち点2で最下位になっている。7試合で5点と得点力不足に苦しんでいる筑波大は5月10日、それまで7試合で5失点と堅守を誇る明治大学と対戦。1-3で敗れ、

## 勝ち点2で最下位 得点力不足に苦しむ

リーグ戦初勝利は挙げられなかった。試合開始直後の前半3分、明治大にオウンゴールKの有賀陽平(体専2年)で先制を許す。同28分には明治大の右サイドバックにドリブルで突破される。GKの守備が崩れる。ゴール左側からシュートを放つ車屋



ゴール左側からシュートを放つ車屋

もかわされ、ゴール前へのパスを中であらまされた。攻撃面でもセンターライン付近でボールを取られる場面が目立ち、前半は無得点に終わった。後半序盤は筑波大が流れをつかむ。後半4分、コーナーキックの際の競り合いで、明治大がペナルティエリア内で反則をし、PKを獲得。キッカーの片岡爽(同4年)のシュートはGKに止められたものの、跳ね返ったボールを押し込み1点を返した。しかし8分後、

筑波大はコーナーキックのこぼれ球を奪われると、右サイドから攻め込まれ得点を許した。その後は車屋紳太郎(同4年)がゴール左側からシュートを放った以外には目立ったチャンスを作れず敗戦。この試合でも長いトンネルからは抜け出せなかった。試合後、車屋は「個の力がないことがこの不振の原因(だと思ふ)。今はどんな形でもいいので、勝ちにこだわりたい」と話した。(森脇慎)

記録ファイル... ◆女子サッカー 第20回関東女子サッカーリーグ(4月12日から、鹿島ハイイツ他)筑波大2-1関東学園大▽筑波大4-0日テレレ・メニナ▽筑波大0-1浦和レッズ▽ダイエーモンスレディーズユース▽筑波大1-4早稲田大◆オリエンテリング 第40回全日本オリエンテリング大会(4月27日、菅平高原)【女子】ジュニア選手権クラス▽宮田優花(心理3年)1時間03分57秒▽7位

顔... 高校2年の時に全国大会で優勝し、得点王に輝いた。3年になるとU-19の日本代表に選出され、第5回男子ユース世界選手権などの国際大会で活躍。得点へのこだわりと、左腕から繰り出される精度の高いシュートが持ち味の期待の新人だ。



U-19 ハンドボール日本代表

## 徳田新之介(体専1年)

チームがまとまらない、大事な試合で勝てない。そんな苦しい状況でも、ハンドボールが嫌になることはなかった。ハンドボールが楽しい、強くなって優勝したいという思いの方が強かったのだ。顧問の先生や母にもアドバイス

得点力の高さを武器に... ハンドボールと出会ったのは、小学2年生の時。実業団の選手だった母親が作った少年チームに入団した。当初から才能を発揮したが、同時に野球の少年団チームにも所属していた。「あくまで野球が第一で、ハンドボールはおまけみたいなものだった」と振り返る。しかし、攻守の切り替えが早くスピード感のある気持ちで続けてきたハ

らエースとして活躍。2年出場したインターハイでは優勝し、得点王の称号も得た。純粋に「楽しい」という気持ちで続けてきたハ

た。実践練習ができな間は、筋トレや仲間との分析に励んだ。外から仲間のプレーを見て初めて気付くこともあり、決して無駄な期間で

今春、筑波大学に進学した。入学後は1年生ながら春季リーグ戦に出場。「チームに勢いを与えてくれる」「得点源になっている」と、チームメイトからの評価も高い。自身は「チームが苦しいときに仲間を助けられるような選手になりたい」と語り、11月のインターハイ優勝を目標に掲げる。数々のシュートを繰り出すその左腕が、これからの筑波大ハンドをどう支えていくのか目が離せない。(添島香苗 11生物学類2年)



筑波大生の駐輪マナー

市民から苦情多数

学生生活課によると、最近の市民からの苦情では、「夜間に無灯火で走行して」「交差点など」「飛び出してきて危険だ」などが出ている。また、筑波大生が自立つ。また、筑波大生がつくば市内で放置した自転車について、第一エリアなどでも警備員が確認している。一方、駐輪場の確保では、大学は昨年、第一エリアなどでもスペースを拡張。だが、学生生活課によると、建物の入口から遠い駐輪場を使う、自転車でいっばいの入り口付近に無理矢理駐輪するケースもあるという。つくば市では、「市民の

学内では「不適切駐輪」

筑波大学生の自転車の乗り方やマナーに関して、つくば市民から大学に苦情が多数寄せられている。「並列走行が危ない」「イヤホンをつけ走行している」などで、筑波大学生生活課によると苦情数は毎年度30件に上る。また同課によると、学内でも新学期以降、赤字ブロックをふさぐ形で駐輪したり、車いすの人のすぐ横を高速で通る危険なケースも目立つ。つくば市では4月から、自転車の安全通行を求める条例を施行しており、筑波大学生の意識向上が求められている。(鈴木拓也II人文学類3年)



駐輪禁止スペースに止まる自転車

課)として4月から、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(自転車安全利用条例)」を制定した。ヘルメットの着用や自転車への反射材装着のほか、簡易保険の加入を促す内容で、罰則規定はないが、交通法令の遵守を求めている。つくば市によると、同様の条例制定は県内で取手市に続き2番目。一方、つくば中央署によると、今年1月から4月までのつくば市内で発生した交通事故は146件だった。齊藤泰嘉教授のグループが開発

妖怪伝承を扱う

東京都荒川区南千住を散策しながら地域に伝わる妖怪の物語を学ぶスマートフォンアプリ「南千住百物語」を開くと南千住の地図が表示され、地図上に妖怪の伝承が伝わるスポットの位置が示される。その場所に近づくとスマートフォンが全地球測位システム(GPS)で無料ダウンロードできる。開発者によると南千住には妖怪物語が多く、「南千住叫んだ」と当時の恐怖を語った。また「入学当初は馬乗りされ体を触られたが、無我夢中で足をけると男の体にあたり、男は逃げ出したという。女性は「男は面長でメガネをかけ、若かった」と話している。女性によると当時、自宅から徒歩約5分のコンビニからの帰宅途中。コンビニは大通りに面し周辺は街灯も多いが、女性の自宅アパートに近づくと、街灯が少なくなる。付近に住む別の筑波大学の女子学生はこの周辺の道について「一日没以降は暗く、自転車でも通らないようにしている」と話している。被害にあった女性は「突き飛ばされた。何が起きているのか分からず『何ですか、何ですか』とひたすら

「街灯欲しかった」

被害女性 事件の状況語る

路上わいせつ事件

筑波大学周辺の街灯がない道で、女子学生への路上わいせつ事件(暴行を含む性的嫌がらせ)が増えている問題で、2012年夏に被害にあった筑波大学の元女子学生が本紙の取材に応じ、被害時の状況を語った。元女子学生の女性に幸いけがはなかったが、被害後、犯人に容姿が似た男性に恐怖心を覚えるようになったという。女性は「入通りのある道には街灯をつけてほしい」と求めている。(街灯問題取材班)



つくばに街灯を

女性が被害にあったのは午前0時ごろ。つくば市天久保の自宅アパートに入る直前、後ろからシャツのすそを引っ張られた。「友人か」とふり向くと、見知らぬ男がおり、その後、突

き飛ばされた。さらに仰向けに倒れたところを、男に馬乗りされ体を触られたが、無我夢中で足をけると男の体にあたり、男は逃げ出したという。女性は「男は面長でメガネをかけ、若かった」と話している。女性によると当時、自宅から徒歩約5分のコンビニからの帰宅途中。コンビニは大通りに面し周辺は街灯も多いが、女性の自宅アパートに近づくと、街灯が少なくなる。付近に住む別の筑波大学の女子学生はこの周辺の道について「一日没以降は暗く、自転車でも通らないようにしている」と話している。被害にあった女性は「突き飛ばされた。何が起きているのか分からず『何ですか、何ですか』とひたすら

琴ちゃんせせ



公園にて張り込み中。動けなくなっちゃまったな...。メシ買ってきてくれるか? はい!。俺らのぶんは...。えっ?。か、何ですか?とひたすら

「なんでも予防注射しなきゃいけないのかな?」と「体を守るため!」と5月10-11日に行われた「つくばフェスティバル」の一角で、学生の質問に答える子どもたちの明るい声が響いた。サークル「つくばぬいぐるみ病院」は、地域の保育園や児童館を訪れ、子どもたちに医療に関する教育や、健康的な生活方法を指導する。サークル名の由来は、「ぬいぐるみ患者に見立てた学習法(問診ロールプレイ)」。ぬいぐるみを使って子どもたちと「お医者さん

子どもたちのために試行錯誤

「子どもが好きなんです」。活動参加のきっかけを問うと、メンバーは「健康や医療を学べるよう、メンバーの試行錯誤は続いている。(新田萌夏II社会学類2年)



立って話し合う。つくばフェスティバル当日。ブースの中で白衣を着た子どもたちは



「ここを、子どもたちに病院は怖いよ」と教えている。問診ロールプレイはドイツの医師が小児患者と対話するために考案したもので、世界各地の病院や大学で実施されている。「つくばぬいぐるみ病院」は今年で設立10年目。参加者は医学類や看護学類の学生が多いが、特別な知識や資格は不要だ。週一回のミーティングでは、次回の学外活動に向けた準備を行う。記者が訪問した際は「つくばフェスティバル」の出展は白衣を着た子どもたち



伝承が伝わる場所で撮影した写真

林悠助教(国際統合睡眠医学研究機構)による特別授業「睡眠のミステリー」では、睡眠のメカニズムを分かりやすく説明。林助教が「二度寝」の防止法など、睡眠についてのさまざまな知識を紹介すると、参加者は驚きの表情を見せていた。

小中高生が筑波大生体験 子どもたちに大学の講義や最新の研究を紹介するイベント「キッズ・ユニバーシティ」が4月19日に開催され、小中高生が「筑波大生」として18の特別授業・体験ツアー!展示を回った。

# Who's Who?

## つくば市発のアイドルをプロデュース 長谷川慶さん(社工2年)



松美池前でほほ笑む長谷川さん

「全国を舞台に活動するのは、地域限定の大学生アイドルを創設したい」と話すのは、学生団体「Astaire(アステール)」の代表を務める長谷川慶さん(社工2年)だ。

CMでの作曲を手掛けたアロの作曲家に依頼している。SNSや大学周辺の飲食店、コンビニなど、15店舗以上で広告を出し、つくば市の大学、大学院、専門学校に通う女性を対象としてアイドルを募集しているが、メンバーは残念ながら現在まだいない。だが「アイドルを使って、学生、高齢者、社会人と年齢に関わらず、地域の人の交流を活性化させる」と意気込む。

## アイドルで社会貢献を 地域住民の交流も目的

はふと、「自分でアイドルを創りたいのでは」と思い始めた。大学入学後、アイドルの創設という大きな夢を実現するため、長谷川さんはSNSを活用しベンチャー企業の社長や筑波大のOBを中心に30人以上と面会。多様なアドバイスをもらう中で「やりたいではなく、やるに変えよう」という大手商社に勤めるOBの助言が心に響き「将来は、今できることをやってみようと思った」と語る。

「歌って踊ることだけがアイドルの活動ではない」と語る長谷川さん。アイドルという親しみやすい存在を通して多くの人のつながりを生み出すのが目標だ。メンバーが集まり、アイドルグループが結成されれば大規模なコンサートと、学生や社会人、高齢者が交流するイベントを同時開催する構想もある。「つくば市には、やりたいことがあっても一歩踏み出せない学生が多くいる。アイドルを通じて人とつながることによって、きっかけが生まれ

る。それがやりたいことの表現につながる」と長谷川さんは話す。

例えば、高齢者とのつながり。「目標に向かって悩んでいる時、人生経験豊かな年配の方の助言が役に立つ」と話す。また筑波大は大学発ベンチャー企業の輩出量が全国第2位であるのにも関わらず、学生と起業家とのつながりが薄いといわれる。「起業家志望の学生と、実際に起業した社会人との連携できればいいと思う」

大学生のアイドルをプロデュースすることで、学生と地域住民の交流を促進したいと考える。このような長谷川さんの構想に「地域を元気にしてくれ」と期待する茨城県の県議会議員の声もある。

アイドル創設という巨大なプロジェクトに挑戦する長谷川さん。「アイドルの活動によって多くの人の交流を深め、笑顔にしたい」と意気込む彼が今後どのように活動していくのか、注目したい。(林健太郎|社会学類2年)

### 編集後記

今回、取材・編集を通じて感じたキーワードは「つながり」です。LINE社の森川亮社長は「筑波大は卒業生のつながりが薄い」と語りました。1、2面で紹介した筑波大発の「ビジコン」には卒業生と学生を結びつける意図もあるのでしよう。1面と2面の特集で取り上げた社会貢献プロジェクトは「大学」と「社会」のつながりを作るものです。「大学周辺で生活が充実した紙面を目指しています。」(編集長・平嶋健人|社会学類3年)

次号は

# 7月14日(火)

発行予定です

## 第30回つくば芸術祭



講演するイラストレーターの中村佑介さん

5面へ

## RICOCHET 21st FASHION SHOW



衣装を披露するモデル

5面へ

## 全日本柔道選手権大会



相手と組み合う永瀬(右)

8面へ

## One Day Without Shoes



裸足で歩いた後、横断幕に足跡を付ける参加者

10面へ

学芸

学芸

スポーツ

学生生活